

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY



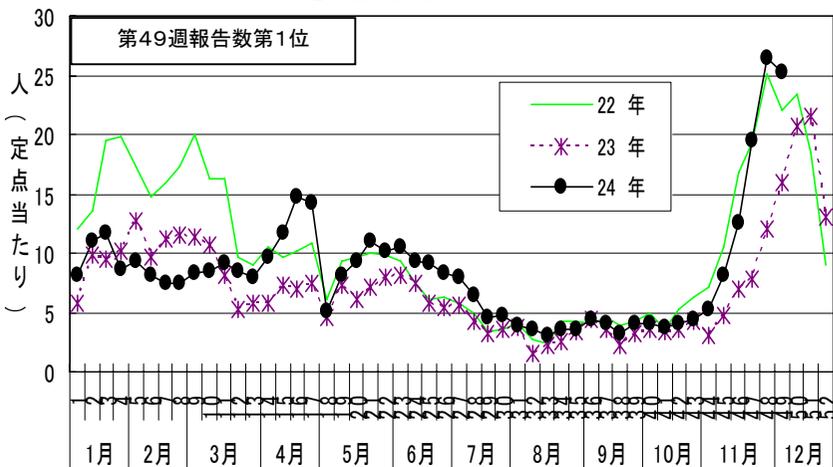
平成24年12月3日（月）～12月9日（日）〔平成24年第49週〕の感染症発生状況

第49週で患者報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3)水痘でした。

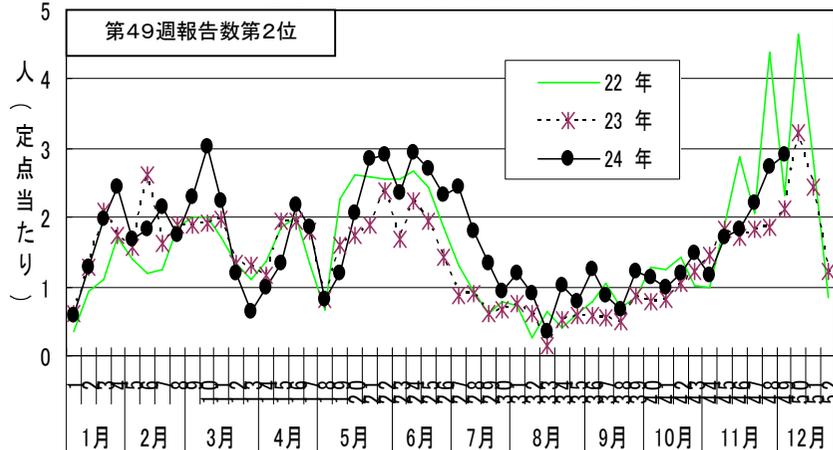
感染性胃腸炎は定点当たり25.18人と前週（26.38）より患者報告数はやや減少しましたが、前週に引き続き、流行発生警報基準値（定点当たり20人）を超えて、例年より高いレベルで推移しています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は定点当たり2.91人と前週（2.72）より患者報告数はやや増加し、例年よりもやや高いレベルで推移しています。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)

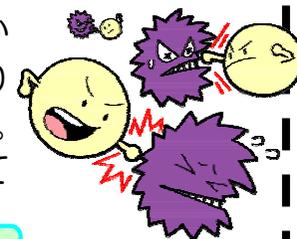


A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)

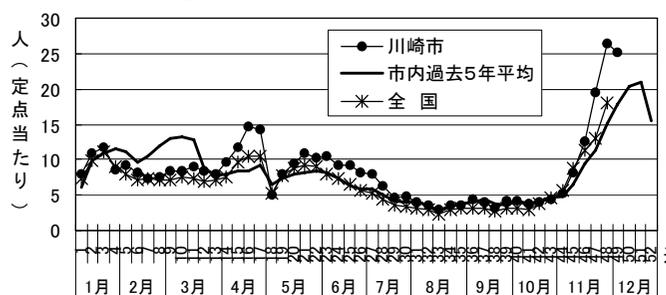


『感染性胃腸炎』が流行しています！！

感染性胃腸炎はウイルスや細菌が原因で起こりますが、秋から冬にかけて流行するものはほとんどウイルスによって起こります。特に今の時期はノロウイルスによるものが増えてきます。下のグラフによると、例年と比較して高いレベルで推移していることがわかります。



H24年感染性胃腸炎発生状況(過去5年平均・全国との比較)

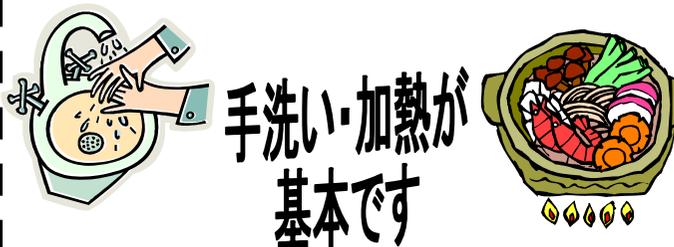


感染予防方法

手洗いが基本です。また、患者の便やおう吐物は乾燥しないうちに早めに片付け、必要に応じて家庭用塩素系漂白剤(次亜塩素酸ナトリウム)などで消毒してください。

かかってしまったら…

下痢やおう吐により体内の水分を多く失いますので、水分補給はこまめに行いましょう。特に、乳幼児や高齢者は脱水症状になりやすいので注意しましょう。



手洗い・加熱が基本です